

特定非営利活動法人



〒360-0002  
熊谷市大塚 253-1  
TEL/FAX  
048-525-9290

代表理事 上原 秀一

多機能型事業所第 16 号 ゆりかごだより

平成 31 年 1 月発行



メンバーFさんの作品

— 遅ればせながら

明けましておめでとうございます —

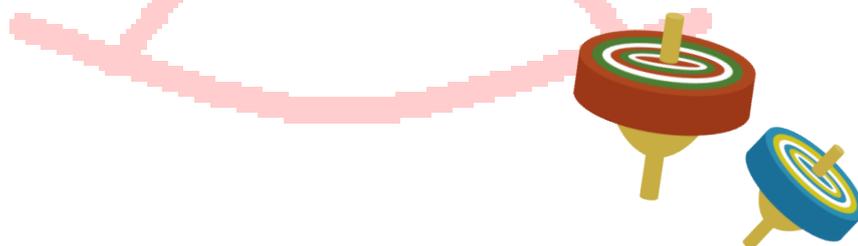
今年のお正月は毎日良いお天気が続き、今年一年が明るい年になる、という希望を持たせてくれました。

ゆりかごの昨年は全てにおいて、凶と出るか吉と出るか。との戦いだったように思います。

たとえ吉と出ても凶と出ても前に進んでいくゆりかごです。

皆様の温かいお心と団結心の強い職員といつも明るいメンバーとで構成されているゆりかごは、今後も苦を苦と思わず、楽しい事嬉しいことは倍にして前に進んでいきたいと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



— 総合優勝 おめでとう！ —

去る11月、3Y運動会が開催されました。

3Yとは、頭文字にYの付くゆめたまご、遊TOピア、ゆりかご、の熊谷市内の三つの福祉施設のことで、初めての3施設合同運動会でした。

出し物をそれぞれ発表するというので、ゆりかごでは何度も合唱の練習をしました。

いよいよドキドキの当日です。

第一種目は玉入れ！

施設長たちが、それぞれ敵陣でカゴを背負って逃げるといふ、動く玉入れです。

ゆりかごメンバーは、逃げるカゴを待ち伏せするなどの知恵を搾りながら沢山入れることができましたが・・・優しい我が施設長は沢山入れられてしまっていました。

う？優しい？鈍くさいのかな？ 見かねた(?)メンバーSくんが、「僕もカゴを背負いたい！」ということで、二戦目はSくんが大健闘してくれた結果、引き分けに・・・

それから、パン食い競争、雑巾がけリレーと続き・・・皆必死で頑張った結果、ゆりかごはなんと総合優勝しクリスタルでできた立派なトロフィーをいただきました。

続いて、他施設の素晴らしいダンスの出し物に、「うちもやってみたいね～」と感動しつつ、ゆりかごもこれまで練習してきた「明日があるさ」の替え歌、「翼をください」「乾杯」を披露しました。

ほかの施設の皆さんも一緒に歌ったり踊ったり、中には手話で合わせてくれる方もいて、みんなの心がひとつになったように感じました。おかげで超！感動的な大合唱になりました。

「ぜひ第二回目も開催したいね！」「次はゆりかごのフライでランチできたらいいね！」などの楽しい提案もあり、更に次回が楽しみになりました。

ゆりかごのみんな、優勝おめでとう！

## — 収穫祭 —

とっても暑かった熊谷の夏。

去年は 41.1℃という最高気温を更新しました(>\_<)

毎年、お盆過ぎに行なっていた納涼祭でしたが、この猛暑で時期をずらそうという事になり、収穫祭という形で 11 月に実施することになりました。

実は収穫祭自体は 2 回目！

1 回目は 5 月でした。

ゆりかご畑で採れた野菜を皆で食べようと、

新施設の第 2 で BBQ ランチをしました。



今回はご近所さん、ご家族を呼び、盛大にやろうとレク班が企画を練り、収穫祭にハロウィンを合わせて仮装大歓迎にもしました。

メンバー 1 人 1 人に 10 枚のチケットを配り、収穫祭ならではの具沢山の芋煮、新米おにぎりにかぼちゃを使ったスイーツ、そしてお菓子のつかみ取りコーナー等々、合計 10 カ所をチケット制で回る形にしました。

お菓子のつかみ取りは、つかんだお菓子の重さを計り、競うというゲーム感覚に・・・

どうやって取ったのか不思議なくらいの大量お菓子をゲットしたツワモノも（笑）ステージでは、上原代表率いるメンバーによるライブや歌声喫茶の方の美声にうっとり。

お腹も心も満たされました。

全員でのジャンケン大会、仮装大賞の結果発表など、今回も盛りだくさんの収穫祭でした。

それぞれが仮装をした写真と沢山のお土産を持ち満足そうに帰っていきました。

「とっても楽しかった」との声。嬉しい限りです！

普段は就労 B と生活介護、別の場所での活動になってしまっていますが、イベントを通してまた気持ちも一つになれた収穫祭になりました。

お野菜や飲み物、お菓子など、沢山の差し入れを頂きありがとうございました！

皆さんの温かいお気持ちに感謝の気持ちでいっぱいです。

ゆりかごのメンバーは幸せだなあとつくづく思います。

また楽しいイベントを計画していきたいと思っています。(o^^o)



— 総合優勝 おめでとう！ —

去る11月、3Y運動会が開催されました。

3Yとは、頭文字にYの付く熊谷市内の三つの福祉施設、ゆめたまご、遊TOピア、ゆりかご、のことで、初めての合同運動会でした。

出し物をそれぞれ発表するということで、ゆりかごでは何度も合唱の練習をしました。いよいよドキドキの当日です。

第一種目は玉入れ！

施設長たちが、それぞれ敵陣でカゴを背負って逃げるという、動く玉入れです。

ゆりかごメンバーは、逃げるカゴを待ち伏せするなどの知恵を搾りながら沢山入れることができましたが・・・優しい我が施設長は沢山入れられてしまっていました。う？優しい？ 鈍くさい？ 見かねた(?)メンバーSくんが、「僕もカゴを背負いたい！」ということで、二戦目はSくんが大健闘してくれた結果、引き分けに・・・

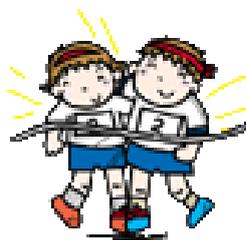
それから、パン食い競争、雑巾がけリレーと続き・・・皆必死で頑張った結果、ゆりかごはなんと総合優勝しクリスタルでできた立派なトロフィーをいただきました。

続いて、他施設の素晴らしいダンスの出し物に、「うちもやってみたいね～」と感動しつつ、ゆりかごもこれまで練習してきた「明日があるさ」の替え歌、「翼をください」「乾杯」を披露しました。

ほかの施設の皆さんも一緒に歌ったり踊ったり、中には手話で合わせてくれる方もいて、みんなの心がひとつになったように感じました。おかげで超！感動的な大合唱になりました。

「ぜひ第二回目も開催したいね！」「次はゆりかごのフライでランチできたらいいね！」などの楽しい提案もあり、更に次回が楽しみになりました。

ゆりかごのみんな、優勝おめでとう！



— ゆりかごの夢をのせて —

ゆりかご代表の上原です。

11/23～26 まで中国の深センで行われた作品展に  
ゆりかごのメンバーMさんとNさんの作品を  
展示させていただきました。

ゆりかごのメンバー2人はすっかり作家さんです。  
作品の説明などのため、二人の作家さん達の代理で  
自分が中国へ行ってきました。初の海外出張！



Mさんの作品

Nさんの作品  
に



今回の展示会では、世界中から作品  
が集まるもの凄すぎな会場に絵を  
展示させていただきました（来場者数約 10 万人）

たくさんの方々が作品の前で立ち止まり、興味深く見てく  
れたり写真を撮っていただいたり、質問をたくさんしてい

だきました。子供が多いのに文化意識の高さも感じました

会期中たくさん笑顔と暖かいお言葉をいただきました。

ほんとに素晴らしい時間でした。

最高に心からシェイシェイです♪

今回の作品展のために、寝る間を惜しんで駆けずりまわってくださったギャラリ  
ー社長とスタッフの方々、絵画教室の棚沢先生、カメラマンの佐藤さんや、今回のチ  
ャレンジにご協力してくださったたくさんの暖かい皆様に心から感謝いたします。

♪ゆりかごの作家さん達♪みんなの夢を乗せて  
世界に羽ばたいていっちゃお～o(^-^o)ワクワク



では、朝日新聞 2017年8月24日付けの朝刊・スポーツ面の囲み記事「アルプス席」から抜粋した部分を導入として本稿をはじめたいと思います(T.F生)。

『(第二段落より)』

強豪県という印象の埼玉勢だが、夏の全国大会出場は戦後間もない第31回大会(1949年)と、全国で4番目に遅い。2年後の第33回大会で2回目の出場を果たした熊谷がエース服部の3連続完封で決勝へ。平安(京都)に4-7で敗れたが、「学生野球の父」こと飛田穂洲(すいしゅう)は朝日新聞紙上で「素朴なチームぶりも愛すべく黙々として一戦また一戦と勝ち続けた服部の投球には一種の風格があった」とたたえた。(以下略)』 — (編集委員・安藤嘉浩氏の執筆による)



### 『伝説』

あれは私が高校一年の三月ころだったろうか。古くなった校舎の建て替えのため、引っ越し作業にかりだされることとなった。その校舎には、職員室、事務室、研究室や校長室などが入っていた。引っ越し当日、私たちのクラスは職員室、校長室の書棚、備品、書籍などを運ぶよう担任から指示があった。この時、私にはひとつのことが頭に浮かんだ。

「校長室？ ということは、あの楯を直接拝めるかもしれない」

『あの楯』—そう、私の在学していた高校は昭和二十六年、すなわち1951年の全国高等学校野球選手権大会で準優勝していた。その時の『准』優勝楯のことである。

私は小さいころから野球好きであったため、中学時代にはすでに希望進学先であったこの高校の甲子園出場回数、成績やエピソードなどを調べていた。昭和二十六年に甲子園で埼玉代表としては初めてノーヒット・ノーランを記録し、決勝戦まで進出したことも、また昭和二十八年には南関東大会・準々決勝戦で千葉県佐倉一高と対戦し、長嶋茂雄選手に県営大宮球場バックスクリーン直撃の伝説のホームランを浴びたことも知ってはいた。

私たちは、職員室の机、書棚などの運び出しを終え、校長室に入っていった。

もちろん、校長室は初めてだった。部屋のガラス戸棚の方(ほう)に目をやると、数々のトロフィーの中にひとつ、くすんだ印象の四角い楯があった。

それは『1951という数字の刻まれたレリーフ』が中央に配されたものであった。だが、その『1951』だけで俄然、輝きを放ちはじめた。それこそがお目当ての楯であることはすぐにわかった。幸い、まわりに居た友人たちは誰一人として、

『准』優勝楯であることを認識していないようであった。いや、彼らの大半は“この高校”が甲子園に出場したことさへ知らなかったであろう。それゆえ、私は施錠が解除されると無条件にその楯に触れることができた。引っ越し作業という名の下に。

事情があつてボールを握れなかった私にとっては、涙がこぼれそうなほど嬉しかった。あの感触は、小学生のときの『四番サード長嶋(茂雄選手)』との握手と共にいまでも鮮やかに残っている。



その二年半後、地方大会・準決勝で延長戦の末、長嶋一茂選手の居た立教高(現・立教新座高)を下し、決勝の市立川口(近年、統合校へ)戦でも、終盤連投で疲れの見える斉藤正樹投手(のち、雅樹に)を捉え、集中打で逆転し、前評判を覆してノーシードから奇跡とも言うべき三十一年ぶりの甲子園出場を果たした。

高校を卒業してはじめて迎えた夏、私は当然のことながら『アルプス』の中に居た。(了)

※ 本稿の後段「伝説」については、『第十二回・私の高校野球ストーリー』の入選作となりましたため、著作権は現在、同コンテスト主催者であります(株)朝日連合ファイブ様(=県内の朝日新聞販売連合会)に帰属しておりますが、非営利媒体への転載ということで特別に使用の許可をいただきました。

この場をお借りしまして、同社様のご厚意に対し篤く御礼申し上げます(T)ー

シリーズ

## 移動販売便り

2年に一回、11月の第3日曜日に熊谷市役所隣の中央公園で“家族のきずなと地域のつながり”をテーマに「くまがやまの灯り」が開催され、販売に行ってきました。

17時、点灯式が始まり、1時間だけ段ボールハウスにLED電球のあかりが灯ります。「わあ〜」「きれい」と歓声がして、段ボールの家の窓から色とりどりの灯りがともると、冷え込んでいた公園が暖かく感じられ、心がほっこりしてきました。一軒一軒形の違う段ボールの家はシンプルだが、どこことなくおもむきがあり、家族っていいなって思いました。

休憩時間、大学生ボランティアスタッフがフライ・フライドッグ券と引き換えに、出来たてのフライ・フライドッグを食べて腹ごしらえをしました。「これを食べるのを楽しみにしていた」と言われると、ついつい大きめなフライを渡してしまいます。段ボールを作った家族は、熊谷市外から来ていた人も多く、初フライを食べて「美味しかったから買って帰ります。」と帰りがけに買ってくれました。

また2年後に販売に行けることを楽しみにしています。



— 板についてきた防災避難訓練！ —

年に2回実施しなければならない避難訓練を先日生活介護と就労Bともに無事2回目を実施しました。

非難する時間が早いことと一人一人が真剣に向き合う姿勢にとっても驚き感動いたしました。

職員の声や指示に耳を傾け慌てることなく避難できたことは日頃の訓練が身についているのでしょう。

いざ！という事があってはならないのですが、そんな時にもこのように動けるといいなと思っております。

今後も「いざ」という時のために実施してまいります。



新聞・段ボール・アルミ缶等を提供くださる皆さまありがとうございます。これからもよろしくお願ひ致します。

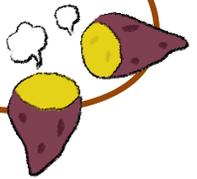


フライ販売  
ゆりかご前販売  
毎週火曜日  
11時~2時



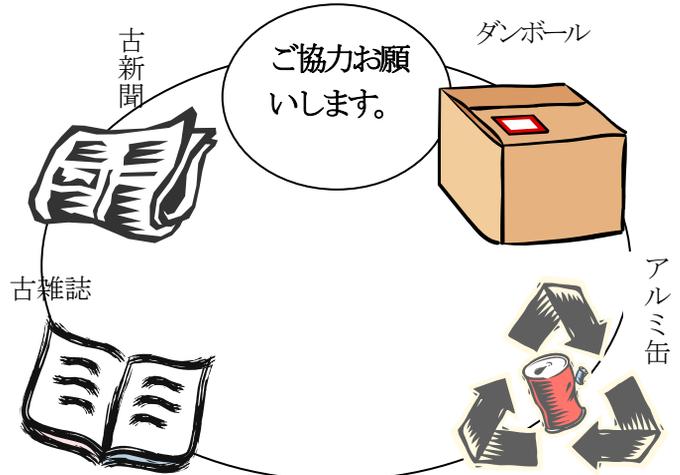
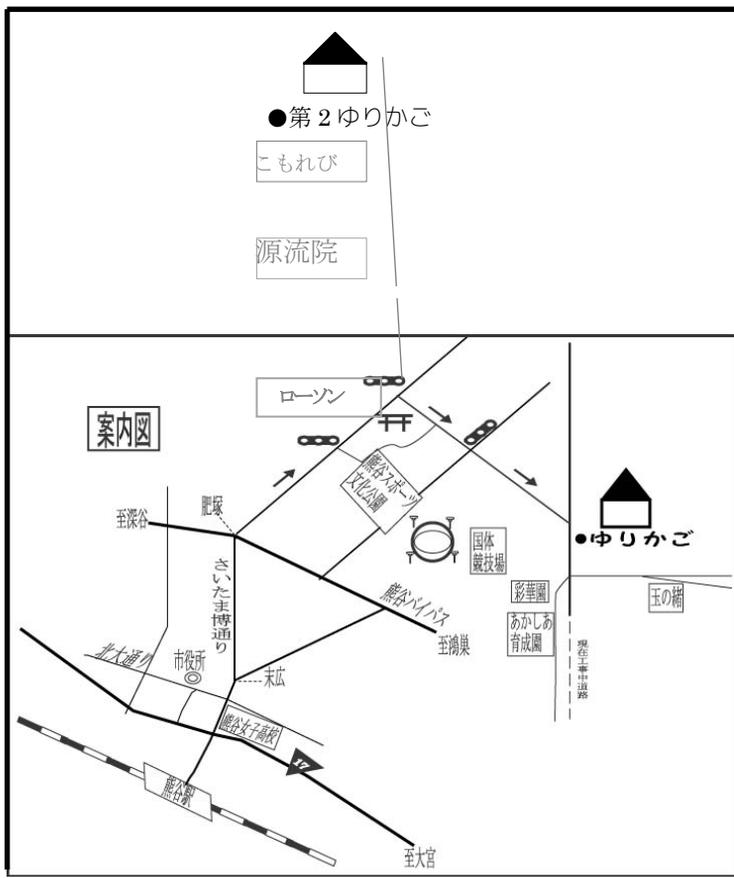
電話での予約注文受け付けます！

焼き芋販売  
毎週火曜日  
ゆりかご前



## 賛助会員募集中

年会費・1000円~  
会報を送らせて頂きます。



連絡をいただければ取りに伺います。

### 編集後記

小さい頃父がおやつにドラヤキなるものを作ってくれました。

小麦粉と卵とじお砂糖お水を混ぜ、油で揚げたもの。

甘くて周りがかリカリして私のお好物でした。

普段キッチンに立つことのない父だったのにこのおやつとカレーを作ってくれた覚えがあります。

何故か幼稚園にもまだ行っていない私がお手伝いをして。

父との思い出の1つ、二人で作ったドラヤキ。

今でもたまーに作るドラヤキ、とても美味しいです。

何故ドラヤキなのか、今となっては知る由もありませんが。